

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進					
(2)	総合計画の体系	第	03	章	健康で安心して暮らせるまちづくり		
		第	02	節	高齢者の暮らしを支えるまちづくり		
		第	10	細節	高齢者の社会参加・生きがい事業の推進		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		117,937	117,679	124,004	
		従事職員数		4.55 人	4.55 人	4.40 人	
		所要人件費(B)		36,580	35,950	35,434	
		総事業費(A+B)		154,517	153,629	159,438	
		財源内訳	収	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	7,459	6,958	7,381
				その他	636	563	636
			入	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	146,422			146,108	151,421		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	いきがい教室延受講人数	目標値 (単位:人)	7,579.00	7,435.00	7,651.00
		実績値 (単位:人)	6,801.00	6,585.00	/
		達成度(%)	89.7	88.6	
目標値の積算方法	実績による				
指標内容	地区敬老行事参加人数	目標値 (単位:人)	35,110.00	37,200.00	38,650.00
		実績値 (単位:人)	26,530.00	27,478.00	/
		達成度(%)	75.6	73.9	
目標値の積算方法	人口推計による				

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

高齢者が生きがいを持ってさまざまな活動に参加することは、高齢化が進む地域社会の活性化を図るとともに、高齢者自身がいきいきと健康に暮らしていくために必要であり、高齢者の生きがいづくりと健康づくりのきっかけとなる取組を推進します。今後、高齢者が増加する中で、事業実施における財源の確保が課題となります。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	高齢クラブ活動補助事業	高齢福祉室	00372	一部	大	18	18	20	18	16	90	継続
2	ふれあい交流サロン事業	高齢福祉室	00380	全部	大	18	16	18	20	16	88	継続
3	いきがい教室開催事業	高齢福祉室	00377	全部	大	20	20	18	18	18	94	継続
4	高齢者友愛訪問事業	高齢福祉室	00373	全部	大	20	20	20	18	16	94	継続
5	シルバー人材センター補助事業	高齢福祉室	00375	全部	大	20	18	16	18	18	90	継続
6	高齢者いきいの家事業	高齢福祉室	00371	全部	大	16	20	20	18	14	88	継続
7	高齢者団体用福祉バス貸付事業	高齢福祉室	00378	全部	大	20	18	20	18	18	94	継続
8	地区敬老行事開催事業	高齢福祉室	00381	全部	大	20	18	20	18	10	86	継続
9	寿祝品贈呈事業	高齢福祉室	00383	全部	大	16	18	18	18	20	90	継続
10	長寿祝賀事業	高齢福祉室	00382	全部	大	14	18	20	18	20	90	継続
11	在日外国人高齢者給付金支給事業	高齢福祉室	00374	全部	中	14	18	16	18	20	86	継続
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		高齢者の社会参加・生きがいくりの観点から、高齢者自身が主体となった社会貢献等の活動に係る事業を優先としました。高齢者保健福祉月間関連に関しては、対象人数の多いものを優先としました。										